

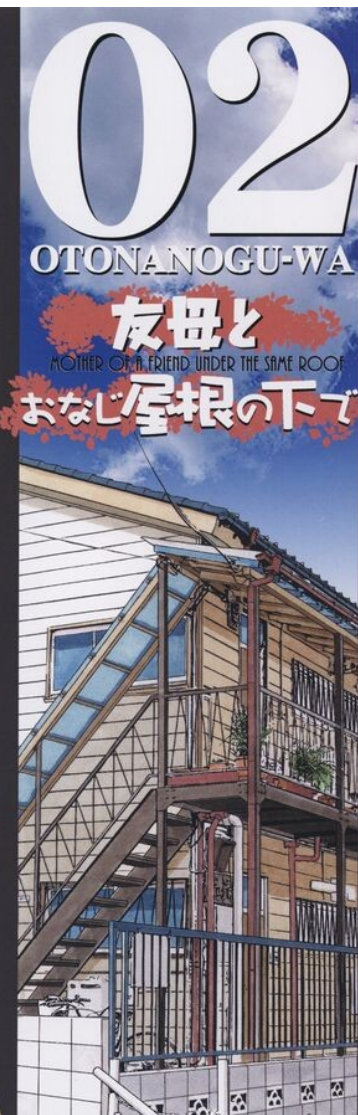


OTONANOBU-WA

友母と

MOTHER OF A FRIEND UNDER THE SAME ROOF

おなじ屋根の下で



02

OTONANOBU-WA

友母と

MOTHER OF A FRIEND UNDER THE SAME ROOF

おなじ屋根の下で

OTONANO GU-WA

# 友母と

MOTHER OF A FRIEND UNDER THE SAME ROOF

おなじ屋根の下で



成人向漫画

18

ADULT ONLY



一人暮らしをはじめてから  
ひと月が過ぎた

この生活にもやっと慣れてきた  
ところだ

俺が一人暮らしになった  
きっかけは両親の離婚

もつとも既に二年前から俺の  
家族は破綻していた  
俺としてはやっと離婚したかと  
言うのが本音だ

両親が離婚した理由はW不倫  
父母共々、他に相手を作ったって訳  
離婚後は一人とも相手側と再婚し  
新たな生活を始めた

離婚時に最後までもめたのが俺の  
親権だった  
父母とも、新しい家庭の不和を回避  
するため俺は必要とされなかった

要するに俺は父母にとって邪魔  
な存在らしい  
…まったく、勝手にもほどがある

ならば俺の方から親を  
見限り、一人暮らしを決意  
今後、親と関わらないことを  
条件に金をぶんどつてやった

しかし他人に対し  
お節介をかきたがるヤツは  
どこにでもいるもんで――

なんて言うか…

肉親のどうどろした愛憎劇を  
間近で見た俺は人間不信に陥り

人との関わりから解放されたい  
俺は誰も知らないこの町で  
ひっそりと暮らしていつもり  
だった

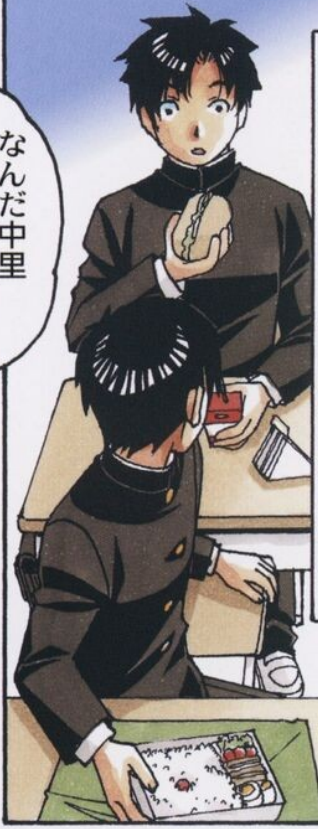
よう、中里  
隣いいか？  
いつしよに  
メシ食おうぜ

…  
勝手にすれば

へへ…  
じゃあ遠慮なく



転校早々、ヤツが俺に話しかけてきた



なんだ中里  
おまえまた学食の  
パンか？  
栄養が偏るぞ  
親に言つて弁当  
作つてもらえよ



まあ、ヤツにとつちや話すきつかけ  
程度の会話だつたらうが

俺の親は離婚して  
一緒に暮らして  
ねーからな  
自分で作るのも  
面倒くさいしな  
これで十分さ



別にいいよ

あつ…  
すまん…

それ以来、ヤツは家族に  
関わる会話はしないように  
してくれてはいるが…  
何かと話しかけてきやがつて  
正直ウザイ

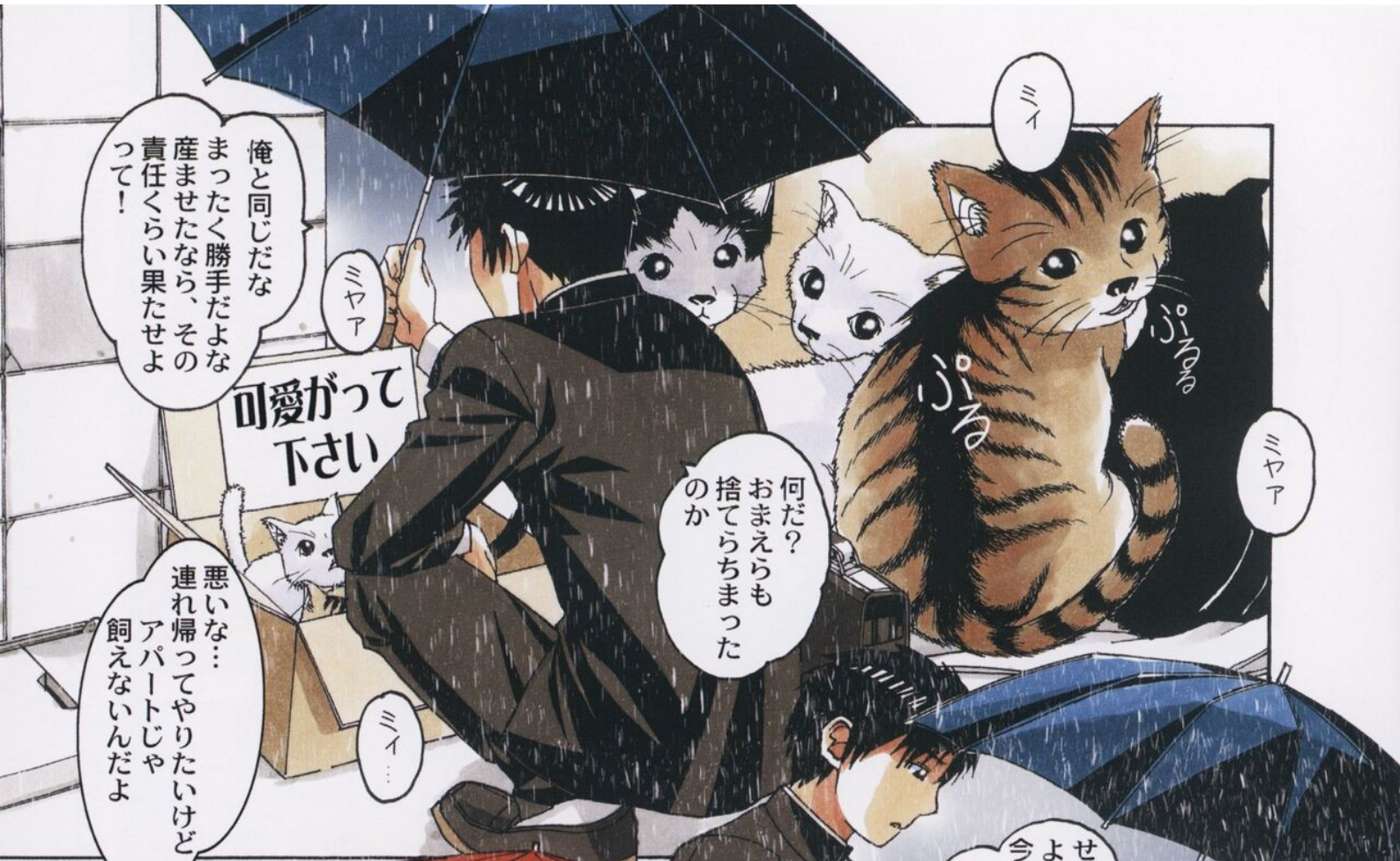


悪い奴じゃないのは分かるが  
ほっといてくれと言いたい



ミイ

ミヤ



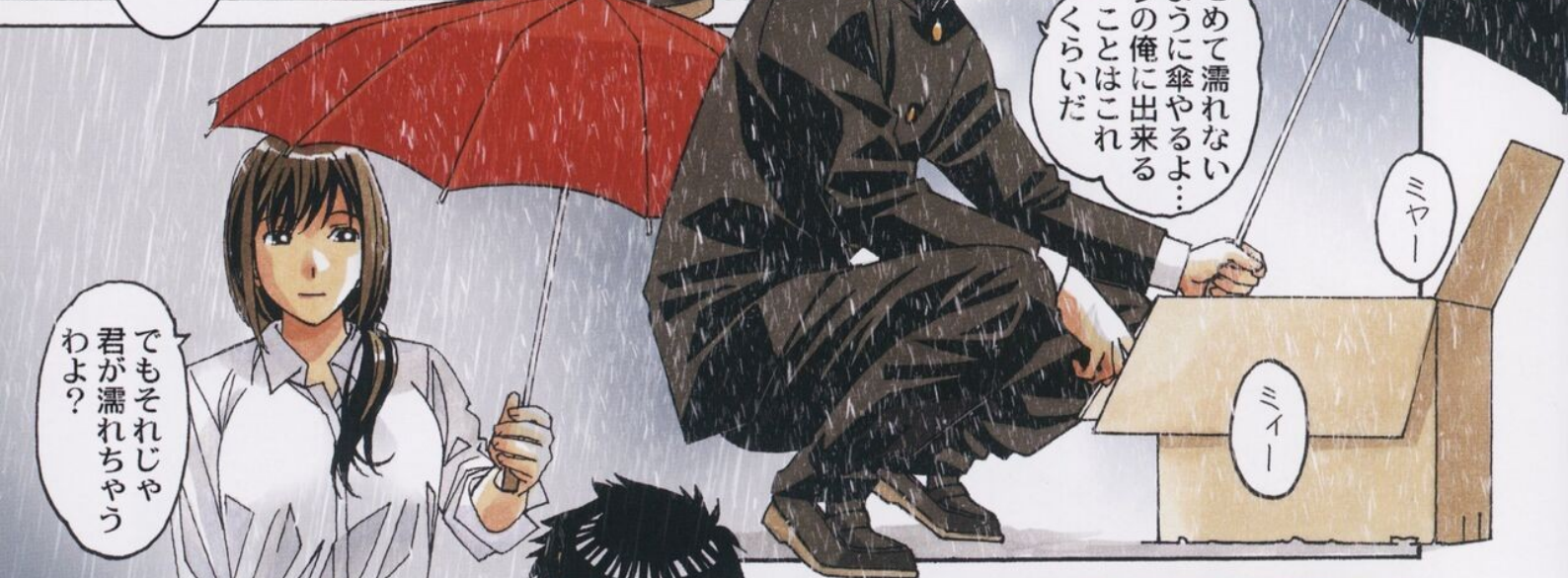
俺と同じだな  
まったく勝手だよな  
産ませたなら、その  
責任くらい果たせよ  
って!

可愛がって  
下さい

何だ?  
おまえらも  
捨てらちまった  
のか

悪いな...  
連れ帰ってやりたいけど  
アパートじゃ  
飼えないんだよ

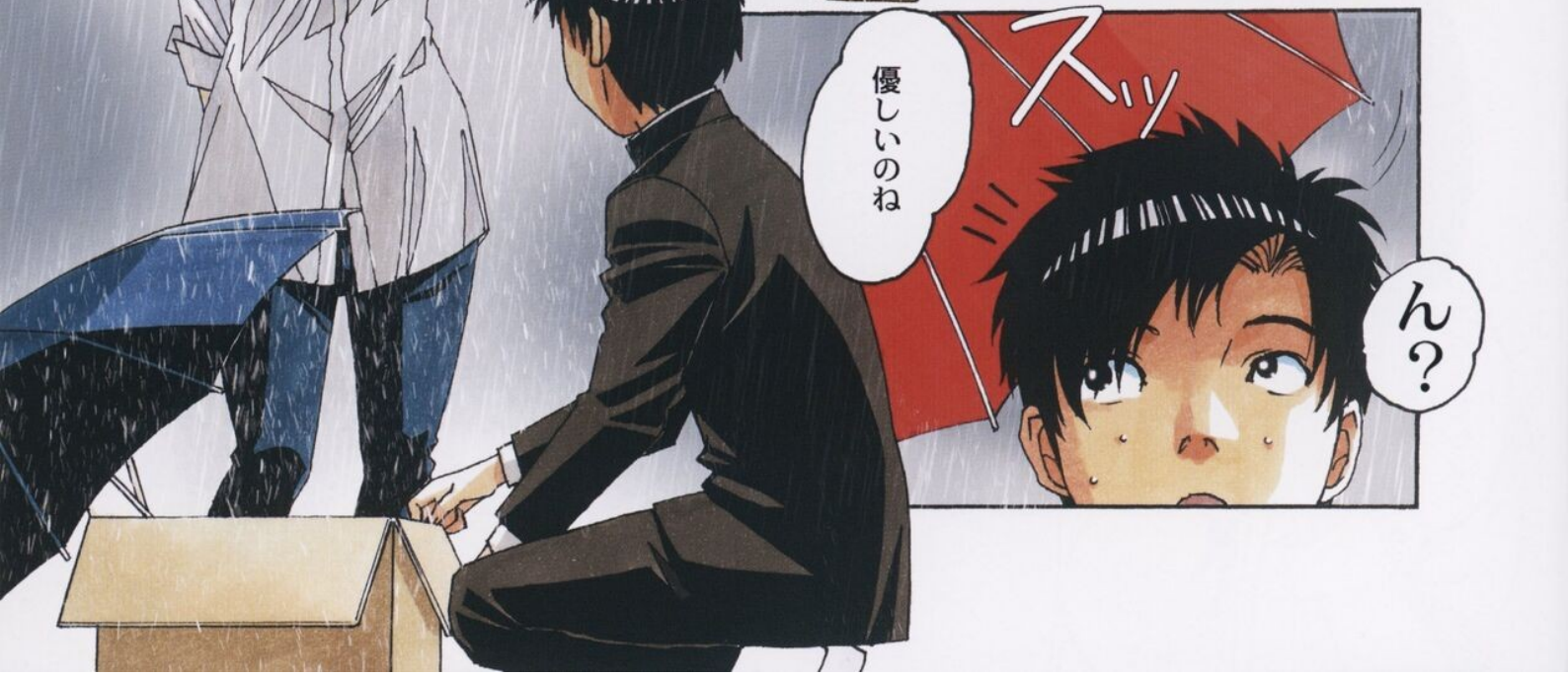
せめて濡れない  
ように傘やるよ...  
今の俺に出来る  
ことはこれ  
くらいだ



でもそれじゃ  
君が濡れちゃう  
わよ?

優しいのね

ん?



家はどこ？  
送っていくわ

おせっかいな人だなと思いつつも  
せっかくなのでアパートまで送って  
もらうことに

ここです  
濡れずに  
助かりました  
ありがとうございます  
ございます

へえ

ここで一人暮らし  
してるんだ

送ってもらったお礼を伝え  
自室へと向かうが  
なぜか女性は俺の後をつけてくる

カン

カン

コッ

コッ

あのお：  
何かまだ？

ニコ

ニコ

中里洋一君  
よね？

えっ？  
そ…そうです  
けど…

なんで俺の名前を？  
どこかでお会い  
してましたっけ？

うちの息子が  
君のことをよく  
話すのよ

聡と同じ  
クラスでしょ？



あいつか〜久城聡  
なるほど……  
お節介は遺伝するらしい  
妙に納得してしまった



でね、中里君に  
お願いがある  
んだけど……  
しばらくの間  
私をここにおいて  
くれないかな？

は？！  
え？なんで？  
それってどうい  
うことでしょうか？

いやあ、  
旦那と喧嘩して  
家出してきちゃって  
行くところが  
無いのよ

い、家出っ？

シィッ！  
大きな声を出さないでよ



助けると思っ  
て……  
ほら、さつき猫は  
連れ帰れなかつたけど  
人間なら大丈夫  
でしょ？

はあ？  
いや、それとこれとは  
全然話し違いますよね？

聡も中里君は  
優しいって  
言ってたし……  
本当に困ってるの  
ちよつとの間だから  
ね、お願い

まあ、ここで話すのは  
何だし、とりあえず  
部屋に入りましょうよ



いや……ちよつ……  
部屋散らかって  
るんで……

大丈夫、大丈夫  
気にしないから  
何なら片付けるの  
手伝うし

いや、俺が  
気にする……



あのですね  
本当に困るん  
ですけど！

んま…  
本当にすごく  
散らかっている  
のね…

まあ、男の子の  
一人暮らしだから  
しょうがないの  
かしら？



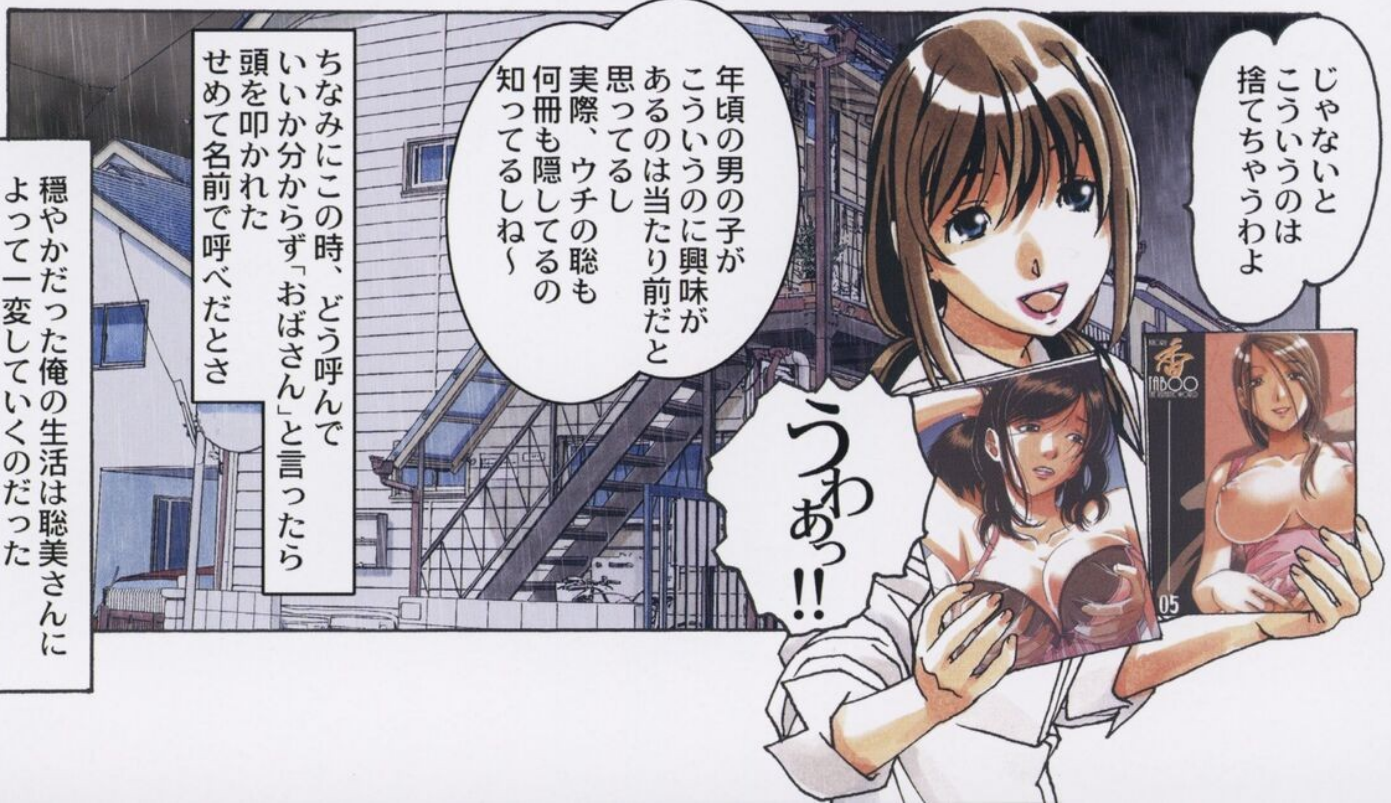
さっさと済ませ  
ちゃいましようか

あ、あのお…  
いったい何を

さっき  
言った  
でしょ？  
片付け手伝うって

ほら、中里君も  
手伝って

私じゃどれが  
必要なモノか  
分からないし



じゃないと  
こういうのは  
捨てちゃうわよ

うわあ！！

年頃の男の子が  
こういうのに興味が  
あるのは当たり前だと  
思ってるし  
実際、ウチの聡も  
何冊も隠してるの  
知ってるしね！

ちなみにこの時、どう呼んで  
いいか分からず「おばさん」と言ったら  
頭を叩かれた  
せめて名前で呼べだとき

穏やかだった俺の生活は聡美さんに  
よって一変していくのだった

数時間後

終了〜♪  
お疲れさま

ね、片付くと  
気分も良くなるでしょ？

おなか空いたでしょ？  
何か作ってあげる

えええっ?!  
何コレ？冷蔵庫の中  
からっぽじやない!

はあ：  
まったく……  
いつもこんな食事  
なの？

違いますよ  
今日は買った物に  
行けなかった  
だけで  
普段はちゃんと  
コンビ二弁当とか  
食べてますよ



同じよ

そんな偏食してると  
栄養が偏って  
いつか身体壊すわよ

まあ  
私がいる間は  
ちゃんとしたモノ  
作るから期待してて  
良いわよ

え…？

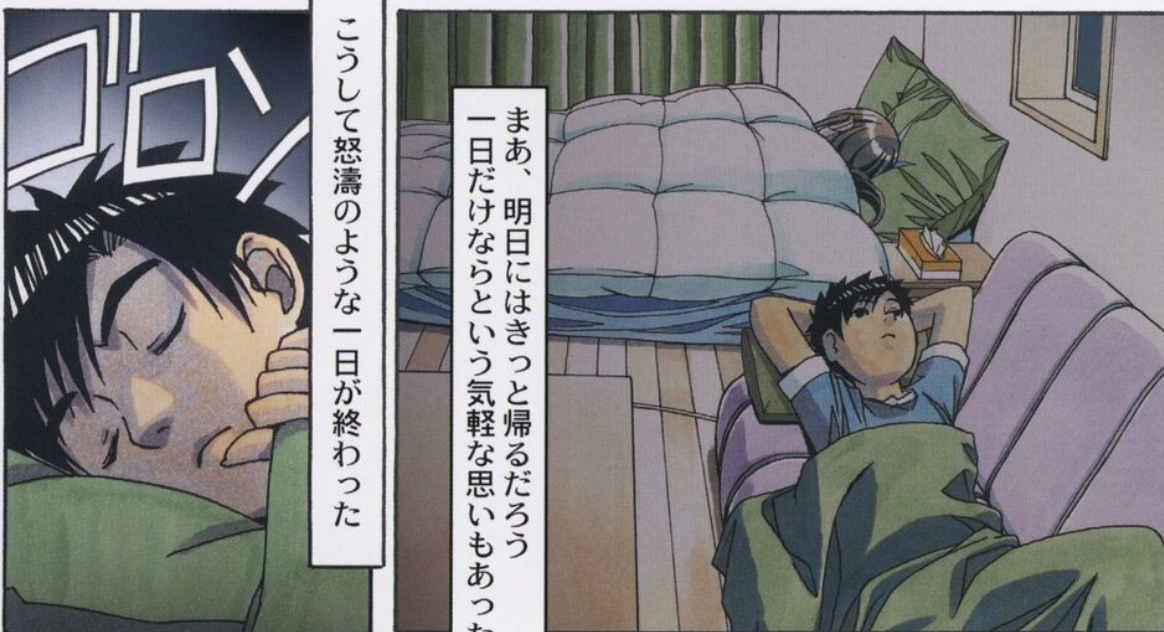


チ〜ルル

最初は冗談かと思っていたが  
旦那さんと喧嘩して家出てきたのは  
マジらしく、言い負かされる形で  
俺は宿泊を許可するハメに……

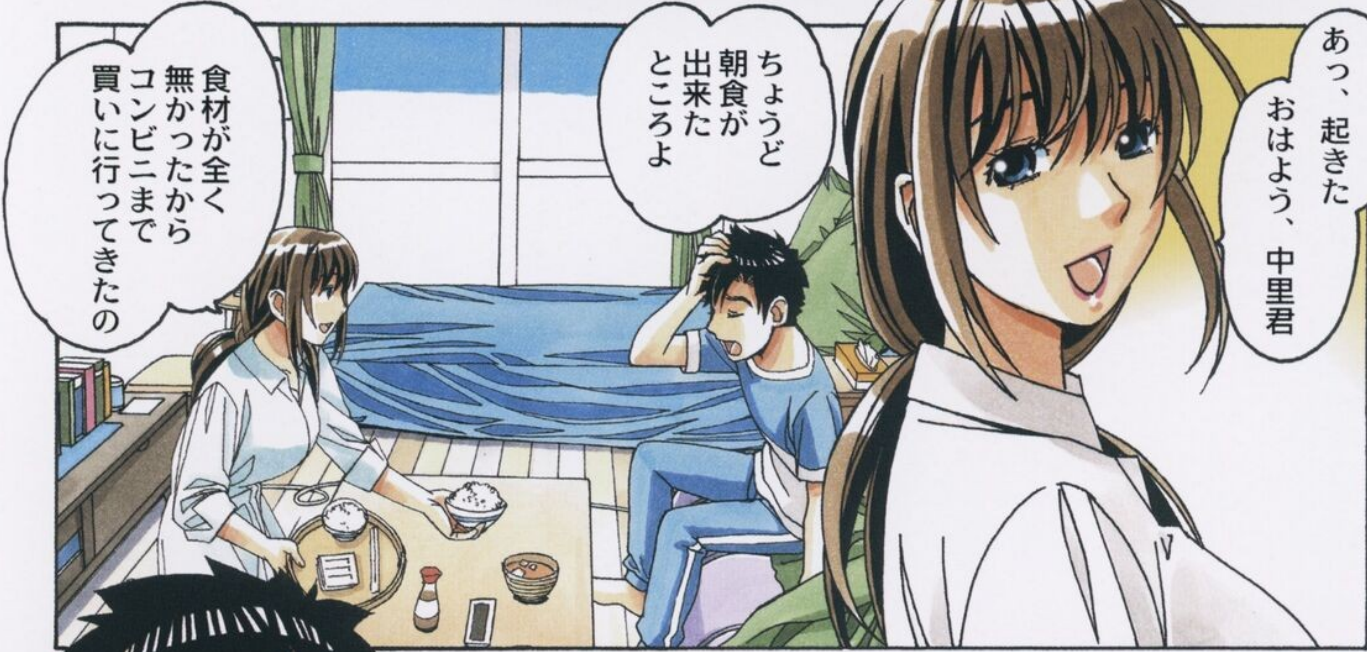
まあ、明日にはきつと帰るだろう  
一日だけならという気軽な思いもあった

こうして怒濤のような一日が終わった



翌朝

聞き慣れない音で目覚めた



ちようど朝食が出来たところよ

あつ、起きた  
おはよう、中里君

食材が全く無かったからコンビニまで買いに行ってきたの



それとコレ

お弁当  
学校で食べてね  
簡単なものしか出来なくて申し訳ないんだけど

あ、ありがとうございます...

そして昼休み——

おの中里  
弁当作ってきたのか  
珍しいじゃん

え？  
いや……まあ……

俺は今日は  
購買のパンだ

あはは  
いつもと逆だな



あむ

すまん久城……

本当ならこの弁当は  
おまえのだった  
はずなのに……

うん  
偶には購買のパンも  
悪くないな



今朝、出かける前に  
おまえの母親に言われたんだ  
俺としても行きがかりとは  
いえ、泊めちまったのは事実  
で外間に対する体裁もあるし

あのね中里君  
悪いけど聡には  
中里君のところには  
居ることは内緒に  
しておいてくれない  
かな？

はあ……

なんで俺が九条ん家の問題に  
巻き込まれにやならんのだ……



学校から帰ってくると  
当然のように  
ハプニングが待っていた

なっ?!

何っ!! 格好して  
るんスカ!

あつ、おかえり  
中里君

コレ?  
昼間、家に必要なモノを  
取りに戻ったんだけど

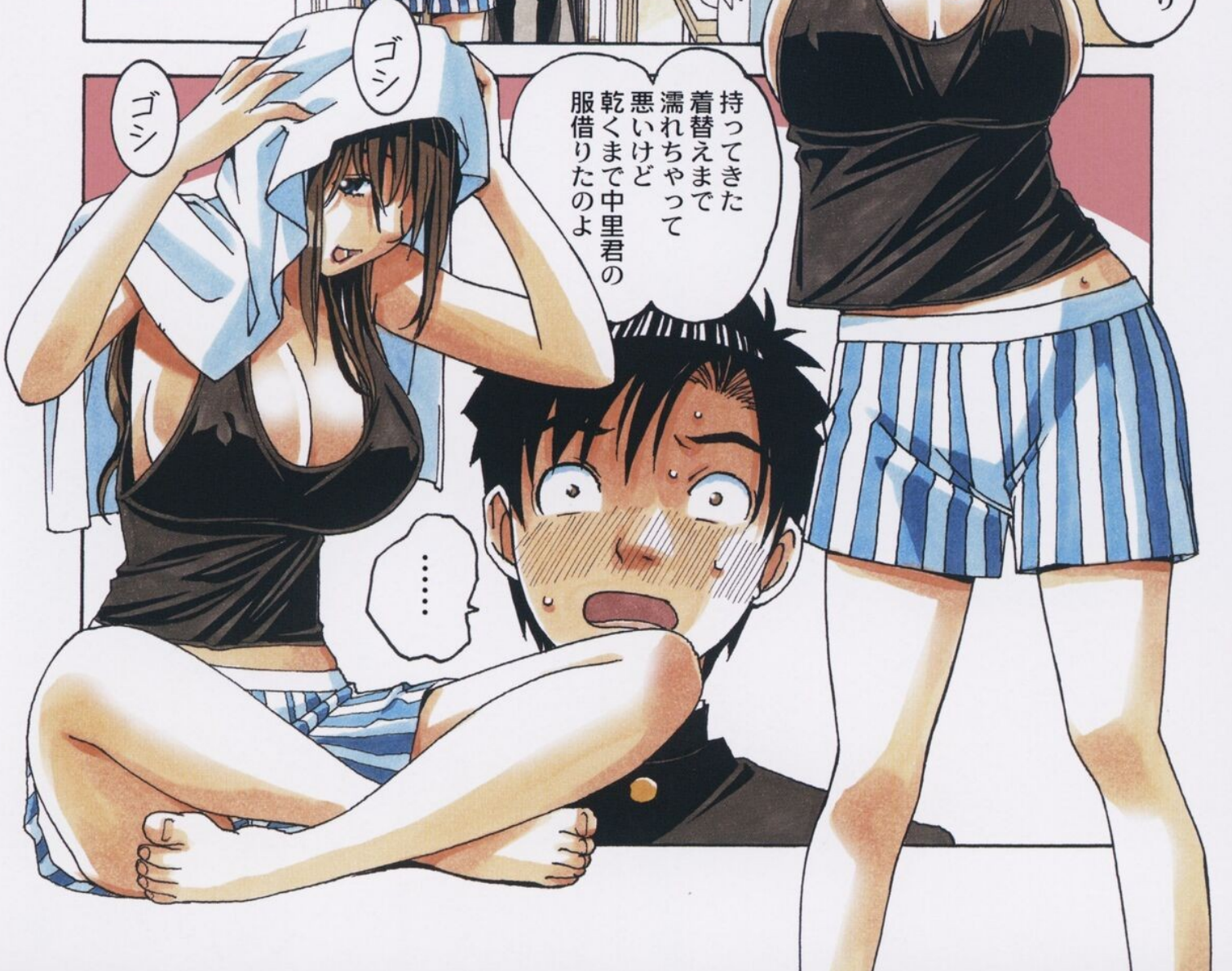
帰りにいきなり  
雨降られちゃって  
もー、ビショビショでさ

持ってきた  
着替えまで  
濡れちゃって  
悪いけど  
乾くまで中里君の  
服借りたのよ

.....

ゴシ

ゴシ





女ってこんなもんなのか？  
正直、どう対処したら  
良いのか全くわからない

いや、俺だって男なんだしそんな格好でいられると困るんだけど

ん？

そ、それはかわらないけど、もつとTシャツとかスエットとかもあつたでしょ？

なにかな？  
拙いかな？

ゴメン、ゴメン  
こうジメジメ  
していると暑くて…  
もうすぐ乾くから  
それまで許してよ

—つてかき、エロいんだよ！

うううん…

又オオオオ？  
ブラもしてねえじゃんか  
動くたびに大きな  
オッパイをプルンプルン  
揺らしやがって…  
健全な青少年にとっちゃ  
限りなく目の毒なんだ  
つてばよ！

ゴゴッ

がらん

たふん

たゆん



中里君って  
頭良いんだって？  
聡が言ってた  
わよ

聡美さんは世話好きなのか  
なにかと俺に話しかけてくる

おはよう  
いつまで寝てるの  
ほら、ぐずぐず  
してないで  
さっさと起きる  
起きる！

よくもまあ、次から次へと  
言葉が出てくるもんだ

それは百歩譲ってよしとしよう  
一番の問題は別にある

良い匂いがするんだよ  
女特有の男を引きつけるような  
甘い香りっていうかさ

なるべく意識しないように心がけているが…  
どうしても女として意識しちゃう訳で

人はひとりじゃ  
生きていけない  
から

健全な少年としては悶々とする訳だ

聡美さんが来て三日が経った  
そして新たな問題が発生する  
それはオナニーが出来ないこと  
まさかこんな問題が  
起こるとは想定して  
いなかった

毎日のようにオナニーにふけていた  
俺としては非常に重要な問題だ

狭いワンルームで  
しかもすぐ側に女性が居る  
状態で致すわけにもいかず

限界を迎えた俺は――

生活し始めて困ったことがある  
自由気ままだった生活のリズムが  
聡美さんによって矯正されてしまった

関心無くすと  
それまでだし

でも相手はクラスメイトの母親  
どうするわけにもいかず……





終わった

もう駄目だ：  
本人の目の前で見られて  
しまった

どよあ

ゴメン、ゴメン  
まさかトイレで  
してるとは  
思わなくて

大丈夫、大丈夫  
私、理解あるし  
男の子だもん  
しょうがないよ  
まあ、開けちゃったのは  
悪かったけど  
中里君が私の名前呼んだ  
せいでもあるけどね

も〜  
どうしたら  
機嫌直して  
くれるのよ

そうだつ！  
じゃあさ  
私がお手伝いして  
あげようか？

さっき最後まで  
してないでしょ？  
だったら私がして  
あげるよ  
良い考えだと  
思わない？

…死にたい

えっ？

さっき、私のこと  
思ってたんでしょ？

いや…  
それは…

ちよつと  
嬉しかったな  
私もまだまだ  
すてたもんじゃ  
無いって思えたし

ここずっと  
夫からも女として  
扱って貰えなく  
なつたのよ  
必要とされるのは  
子供の母親という  
立場

いや…  
さ、聡美さんは  
素敵な女性  
だと思います

なにやらよからぬ展開になり焦る俺

でしょ？  
だったら  
ほら、  
脱いで  
脱いで

ちよっ  
何を…

実は私、若い子の  
って見たことなくて  
興味あったのよね

わおっ  
結構立派じゃ  
ない！

うわっ

ちゃんと剥けてる  
んだ

それにもの凄く  
堅いわ  
まるで鉄棒が中に  
入ってるみたい

さ、聡美  
さん…

なんかこう  
まじまじ見るごと  
無いか  
なんか新鮮

はっ

拙いです  
って…

そんな  
されると

遠慮しないで  
いっぱい射精して  
気持ちよくなっ  
てね

密着した背中に柔らかな  
双球が押しつけられ  
細く柔らかな手が俺のモノを  
弄ぶ

絶妙な力加減で刺激を  
受けた俺はあっとい  
う間に

あは、  
ぬるぬるが  
出てきた  
いつでもイ  
いいからね

はあ

はっ

ニギョ

ニギ



あまりの気持ちよさに耐えかねた  
俺は

はあ

うあっ

あは♪

はっ

あくっ

うぐ

はっ

ちよっ…  
まずいですって  
射精ちやいま…

だからいいよ  
って言ってる  
でしょ？

いっばい出たわね  
ねえ、ねえ  
気持ちよかった？

はあ

はっ

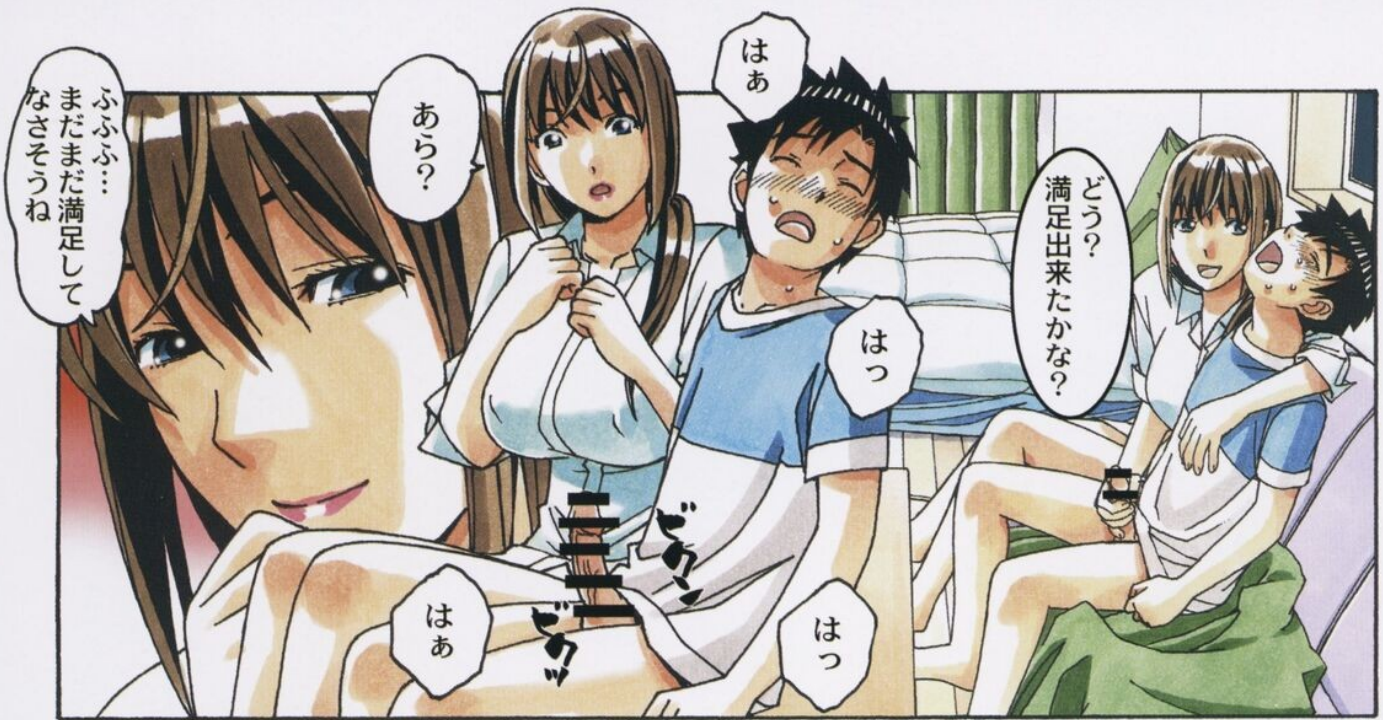
あくっ…

うわあ…  
すごい  
溜まったのね  
あんなどこまで  
飛んでるよ

はっ

はっ

はあ



ふふふ…  
まだまだ満足して  
なさそうね

あら？

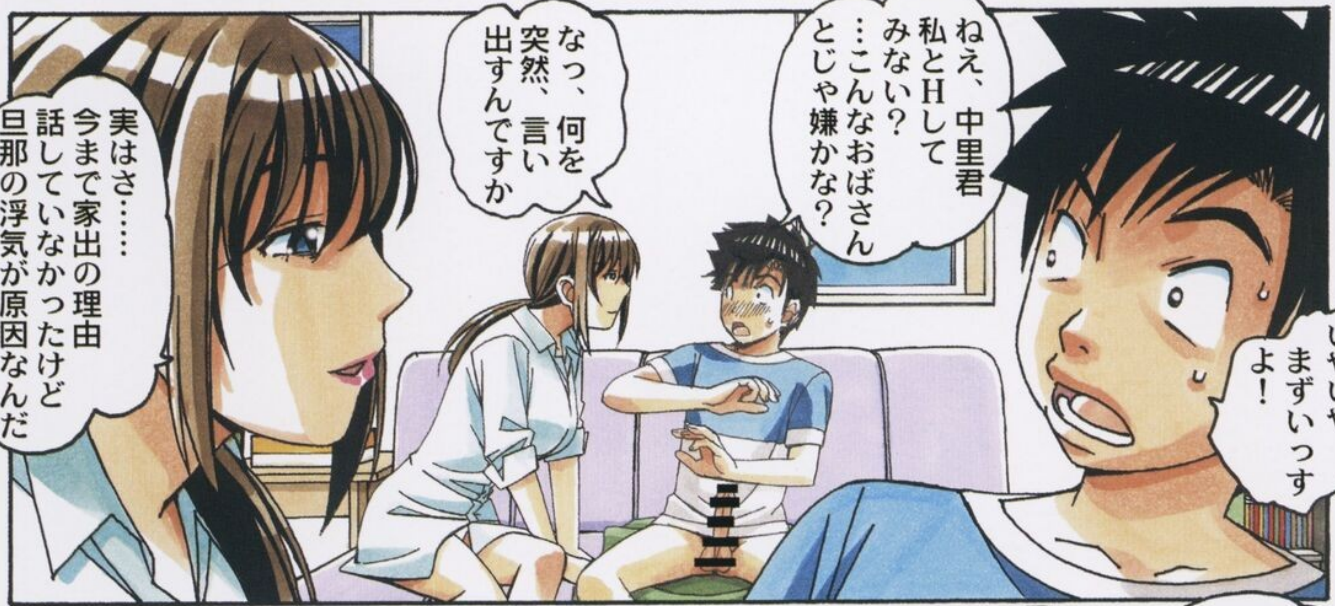
はあ

どう？  
満足出来たかな？

はっ

はあ

はっ

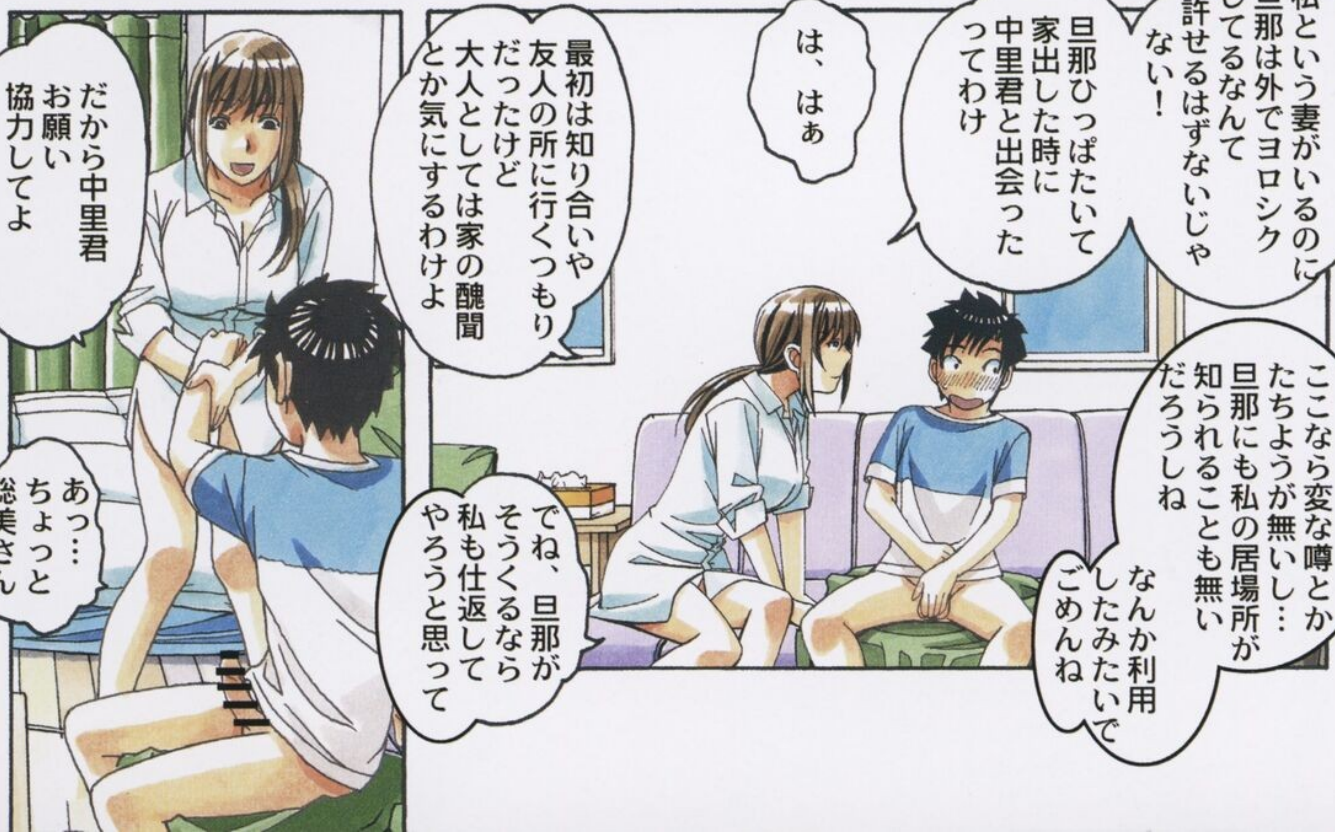


実はさ……  
今まで家出の理由  
話していなかったけど  
旦那の浮気が原因なんだ

なっ、何を  
突然、言い  
出すんですか

ねえ、中里君  
私とHして  
みない？  
…こんなおばさん  
とじゃ嫌かな？

いやいや  
まずいっす  
よ！



だから中里君  
お願い  
協力してよ

最初は知り合いや  
友人の所に行くつもり  
だったけど  
大人としては家の醜聞  
とか気にするわけよ

は、はあ

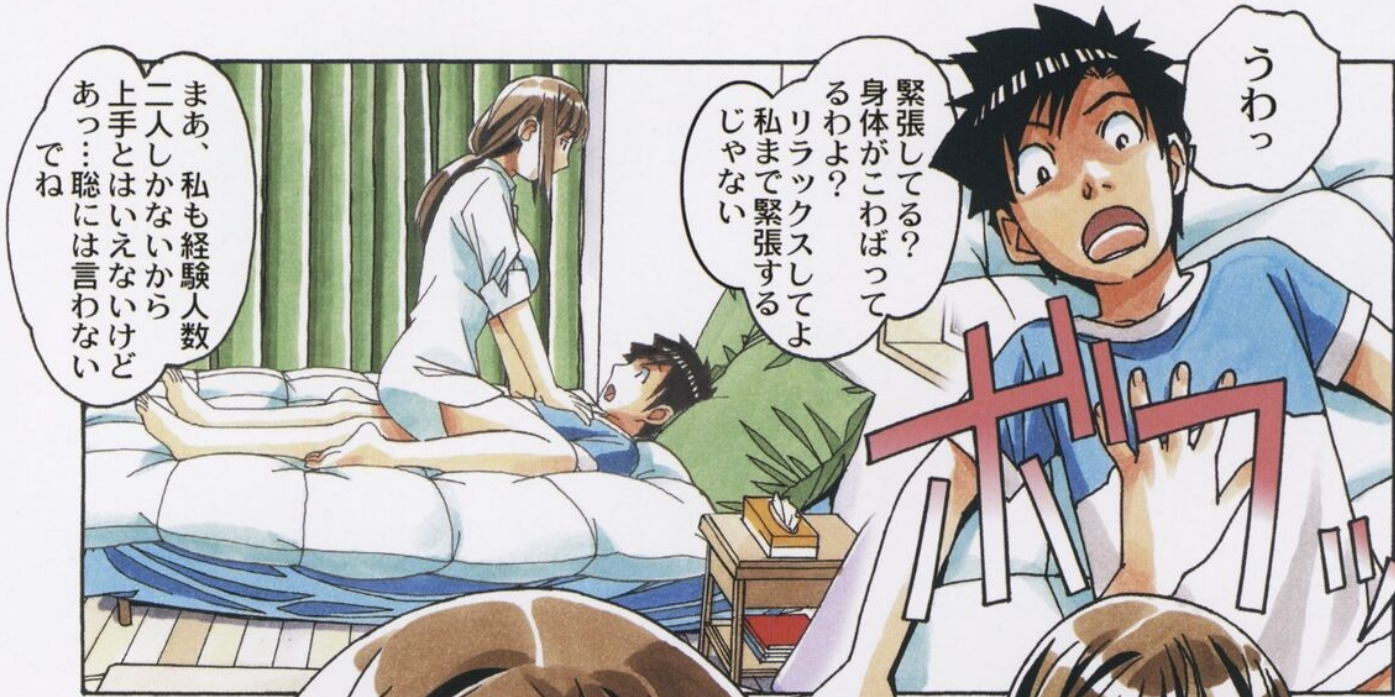
旦那ひっばりたい  
家出した時に  
中里君と出会った  
ってわけ

私という妻がいるのに  
旦那は外でヤロシク  
してるなんて  
許せるはずないじゃ  
ない！

あつ…  
ちよつと  
聡美さん

でね、旦那が  
そうくるなら  
私も仕返して  
やろうと思って

ここなら変な噂とか  
たちようが無いし…  
旦那にも私の居場所が  
知られることも無い  
だろうしね  
なんか利用  
してみたんで  
ごめんね



うわっ

緊張してる？  
身体がこわばって  
るわよ？

リラックスしてよ  
私まで緊張する  
じゃない

まあ、私も経験人数  
二人しかないから  
上手とはいえないけど  
あつ…聡には言わない  
でね

オハハ



中里君で  
初めてだよな？

初めてがこんな  
おばさんで悪いけど  
でもその代わり  
若い子には無い  
女の良さを教えてあげる

彼女が出来たときの  
予行練習だと思って  
くれればいいから

あつ…いや  
…はい…

ガニョ

中里君も私を自由にしていいからさ悪いけど旦那へのあてつけに協力してよ

あ…

ちよっ？  
な、何してるんすか？

聡美さんのでっかいオッパイが目の前にさらされ、思考が一瞬、停止する

脱がないと出来ないでしょ

すっ

私だってまだまだ女としてすてたもんじゃないんだから…

いやいや聡美さんまずいですって…

どわっ？!

しかし、相手はクラスメイトの母親さすがにヤバイと理性を取り戻すも…



知ってるのよ  
中里君、いつも私の  
胸に興味津々で  
盗み見てだじやない

ヤバイ…全てバレてる  
でもしょうがないじゃんか

目のまでおつきな  
オッパイが揺れて  
るんだぜ

誰だっけ目がいつちやうのは当たり前前  
だと思っ

おんにゅう

ふふふ  
この胸にはちよつと  
自信があるんだ  
垂れないように  
クラブで鍛えてたの  
なのに旦那は  
見向きもしないし

はあ  
はっ

ふう

その聡美さんのオッパイを恐る恐る  
揉んでみる  
柔らかくて弾力のあるオッパイが  
俺の手の動きに合わせて変わる

だから今は  
中里君だけの  
ものだよ

はっ…  
くう…

ん…

性器同士が触れあって  
それだけで俺は—

むにゅ

にゅ

にゅ

にゅ

にゅ

にゅ

にゅ

駄あゝ目  
今、イきそうに  
なったでしょ

今漏らしたら  
勿体ないでしょ？  
私も楽しみたいし  
どうせなら膣内でね

マッで？——

いつかは可愛い彼女ができて  
経験するんだと思っていた

あっ…

スツ

中里君の初めて  
貰っちゃうね  
なんか私までドキドキ  
しちゃう

あ…あの  
避妊とかは…

さあ  
どうかしら？  
中里君初めてだし  
お祝いにね

でも…  
もしかしたら  
中里君の  
赤ちゃんが  
出来ちゃう  
かもね

ま、拙い  
っすよ！

冗談よ  
冗談

よく見てね  
童貞卒業する瞬間を

ぴと

くわっ

しんぞ

ぐち

ぐち

ぐち

ぐち





中里君はどうかかな？  
した感想は？

俺の怒張が根元まで挿入されている

はあ

ドクッ

ドキ

クマッ

クマッ

クマッ

ふふふ…そうだね  
繋がっちゃったね

ドクッ

ドキ

…は、入って  
ます…

はっ

本当に俺のモノが聡美さんの中に入ったのだ



柔々とした膣肉が俺の存在そのものを受け入れてくれる錯覚に包まれた



でも  
これで終わり  
じゃないの

これから  
動くけど  
なるべく射精を  
我慢してね

ドクッ

ドクッ

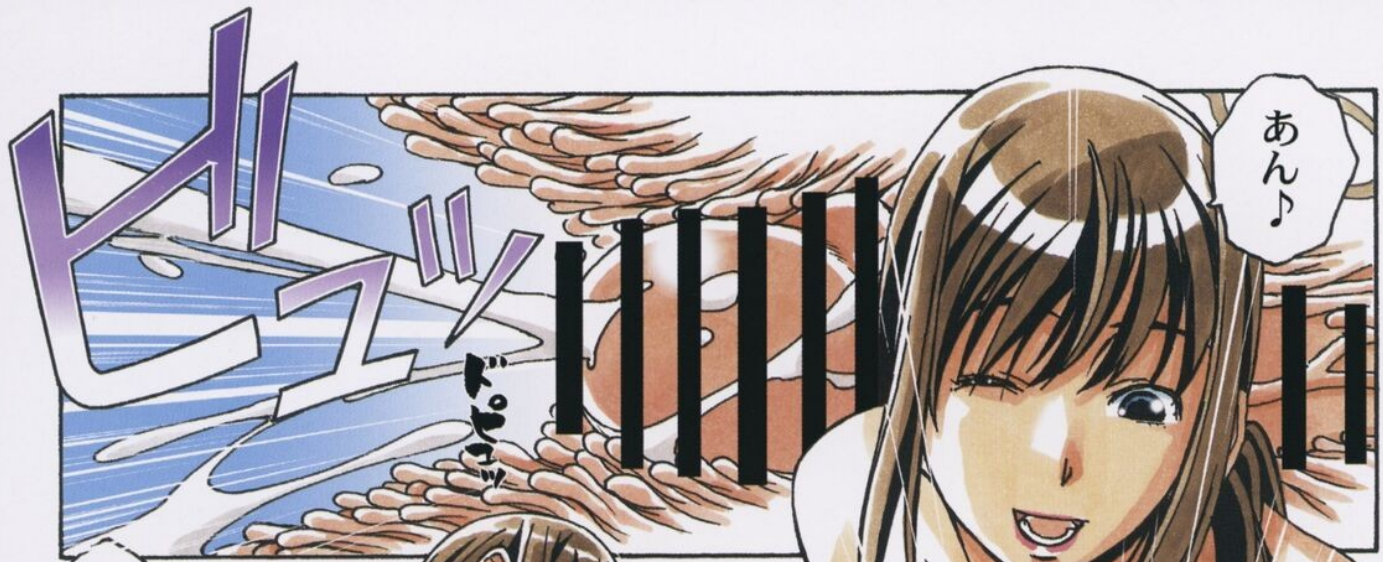
そうすれば我慢  
しただけ、もっと  
気持ちよくなれる  
から

そう言うと聡美さんは腰を振り出した

結して激しくは無いがえもいえぬ快感に包まれる

俺は今にも射精しそうになるのを堪える  
もっとこの快感を長く味わいたいと願いながら





あん♪



あふっ

あつ…  
中里君のが  
いっぱい出てる…



うあ  
あああつ!!  
射精るっ!



しかしその願いも虚しく  
俺はあっけなく射精してしまった  
——これ以上なく大量に

あく…

はっ

ぜい

はあ

はっ



ふふ…  
気持ちよかった？  
いっぱい射精した  
みたいね

はあ

はっ…

はあ

はっ

むぐっ…

しゃとみ…しゃん



たった今、俺が放った精液が

見て  
中里君が出した精液よ

あん…

聡美さんの指が密壺そえられ  
くちゅりと広げられると

膣口から溢れ出る様を見て

女を征服したという満足感に浸る

どろり

どろり

どろり

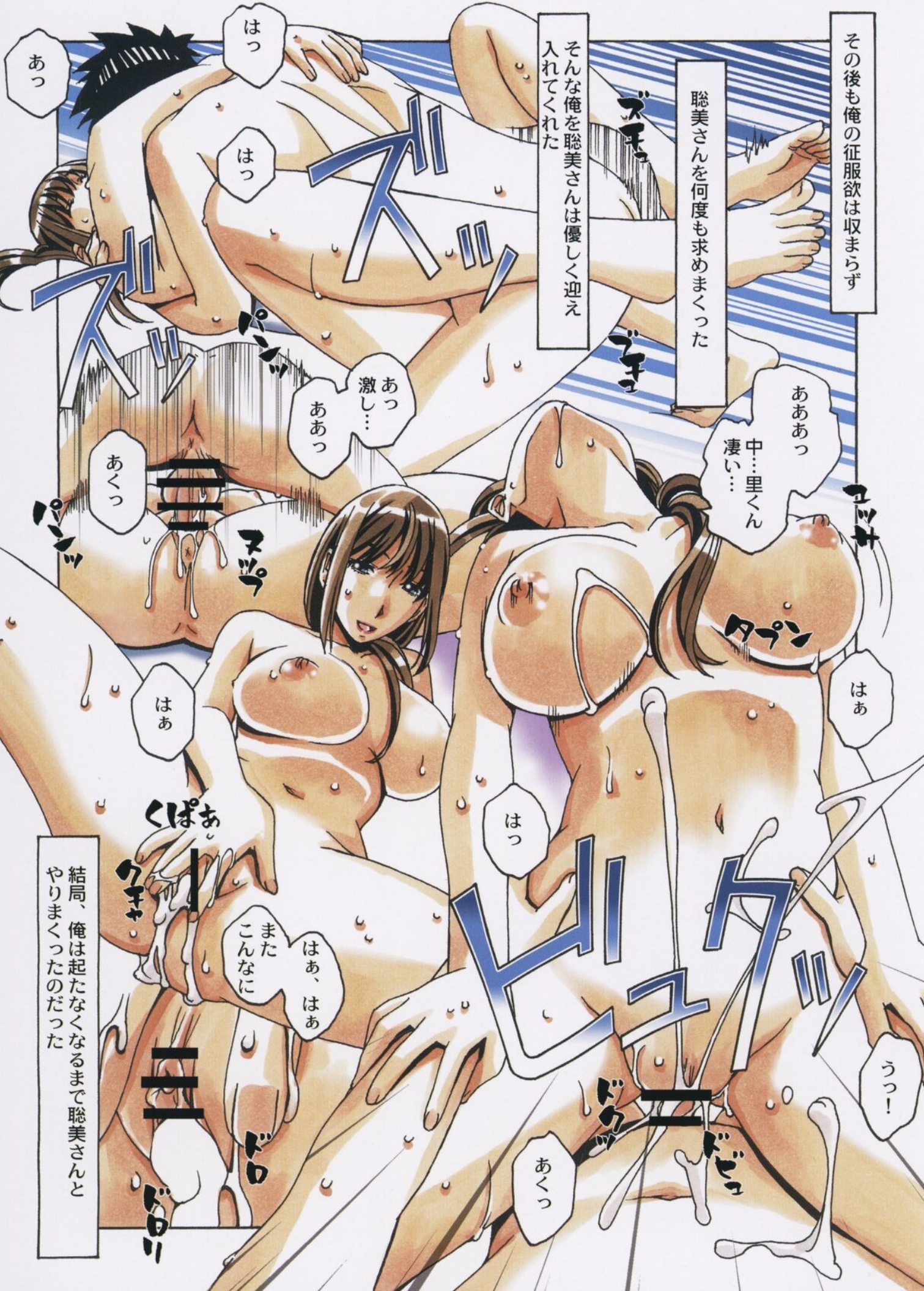
どろり

どろり

その後も俺の征服欲は収まらず

聡美さんを何度も求めまくった

そんな俺を聡美さんは優しく迎え入れてくれた



あっ

はっ

はっ

ズッ

あっ 激し...  
ああっ

あああっ  
中...里くん  
凄...

あくっ

はあ

はあ

はっ

ジュッ

うっ!

はあ、はあ  
また  
こんなに

あくっ

結局、俺は起たなくなるまで聡美さんとやりまくったのだった

くぼあ  
クマッ

ニニ

ドロ

そして関係をもった翌日以降も

こ、コラ!  
今は夕飯の  
支度してるから

聡美さん  
俺…

俺と聡美さんは  
交わり続けた

あく…  
激し…

あうっ

あ…  
ああん

しかしいつまでもこの生活が続くはずもなく

ズッ  
ズッ  
ズッ

あっ  
あっ  
あっ

ああっ

はっ

うぐ

ぴちち

ちゅぽ

はあ  
はあ  
はあ

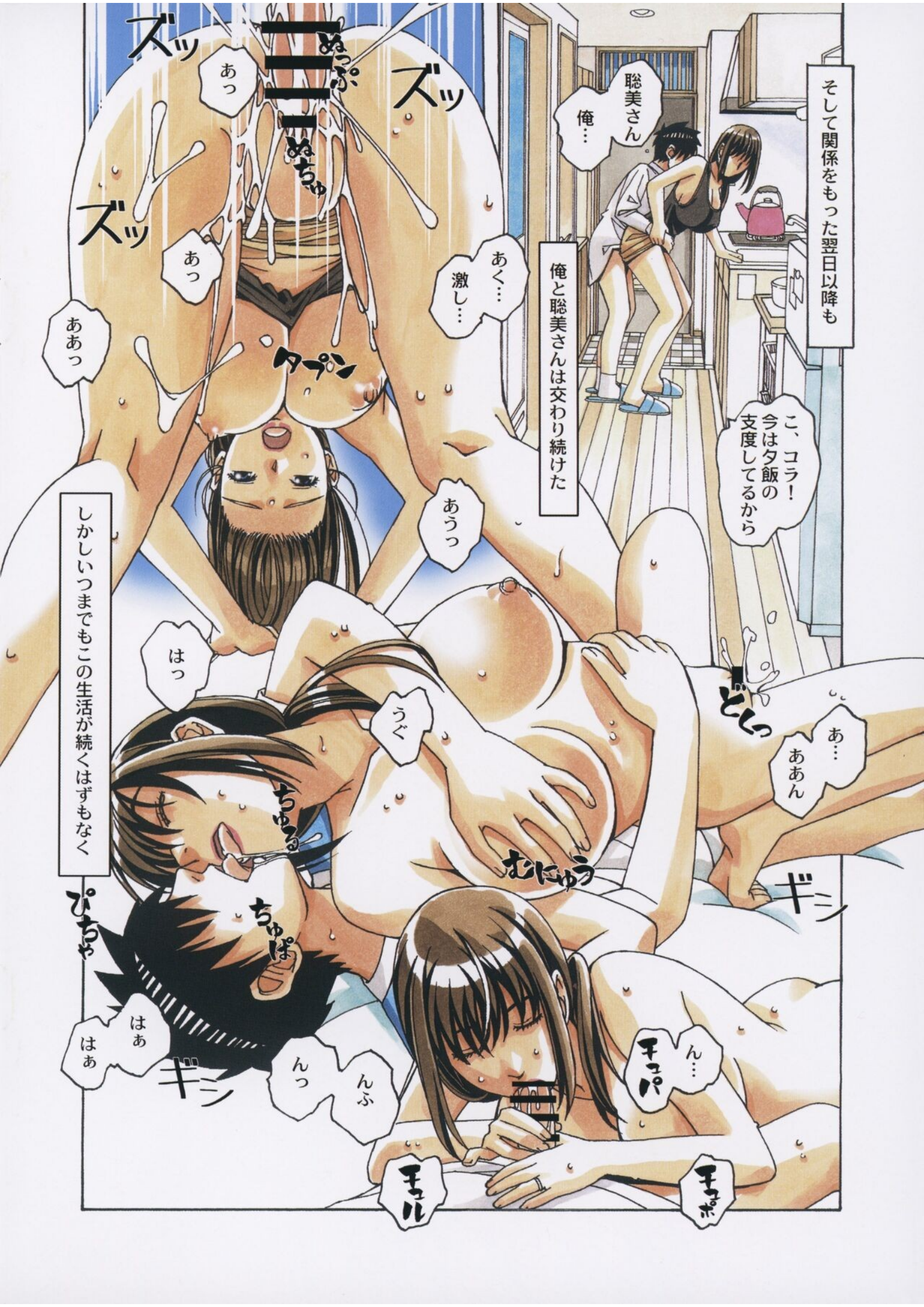
ギン

んっ  
んふ

まじ

ん…  
まじ

まじ



元々歪んだ関係だ  
いつかはこの生活も終わる  
事は分かっていて

中里君  
まだ起きてる？



私ね、明日  
家に帰ろうと思うの  
旦那もちゃんと  
話し合うことに  
するわ

結局、私は現実から  
避けていたんだと  
思う



.....



今回の事は  
旦那の浮気が  
原因だけど  
私も旦那の事を  
おさなりにしていた  
のかもしれない  
だからきちんと  
話し合ってみるわ

それに  
中里君にとっても  
この状況は  
良くないと思う  
でもね  
後悔はしてない

勝手ばかり言って  
ごめんね...

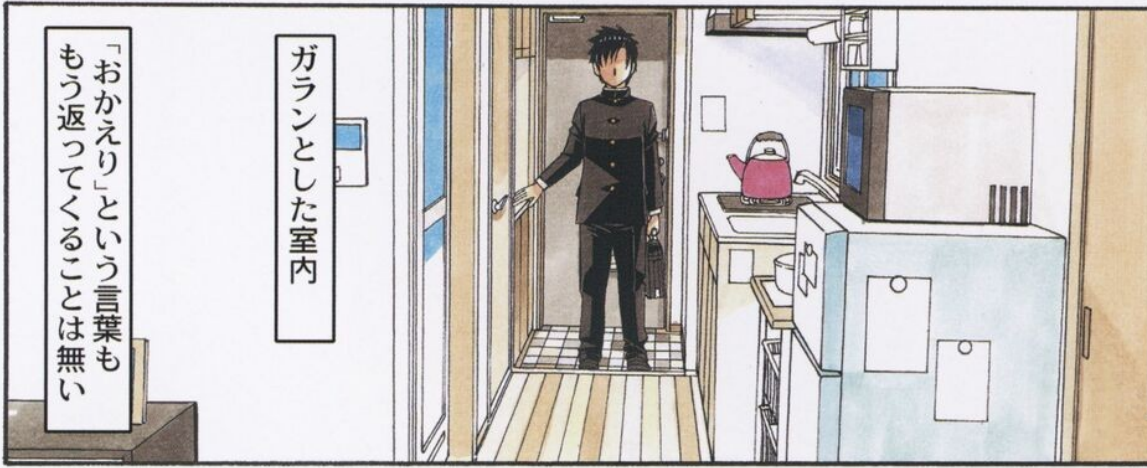


聡美さんは寂しげに微笑んだ

これまでのことは  
二人だけの秘密...  
私も明日になったら  
中里君のことは  
忘れるから



翌日、帰宅すると聡美さんは居なかった



ガラんとした室内

「おかえり」という言葉ももう返ってくることは無い

この空しさは何だろう？



聡美さんが居た日数はわずか十日

聡美さんに「明日、帰るね」と言われた時はまたいつもの生活に戻るだけだと軽く捉えていた

両親の件もあり一人きりは慣れていくはずだった



はあ…

…でも、何でかな？  
虚無感に苛まれる

聡美さんが戻ることは最初から分かっていたことだ



聡美さんには聡美さんの家庭があるのだから

正直、それを壊して欲しくない

聡美さん、旦那さんと仲直り出来たのかな？



聡美さんには幸せになって欲しいと切に思う

そう言えば、聡美さんが戻った翌日  
久城のヤツ、妙にテンション高かったよな

はっはっはっ！  
いよお、中里  
元気してっか？

相当、嬉しかったんだろうな  
俺みたいにならないで良かった  
と思うよ……本当に……

一緒に居たときはいつの間にか主導権握られて

うわあ、うぜえと思っていたけど

ほら、  
足邪魔！  
暇なら少しは  
手伝ってよ

はあ……

居なくなってみると

なんか最近、聡美さんのこと  
ばかり考えている

いつの間にか聡美さんは  
俺の中でこんなにも  
大きな存在になっていた  
ことに今更気づく

へいへい〜  
今、出ますよ

ポリ

ポリ

聡美さんが帰ってから二週間が過ぎた

あ……  
何もする気が  
おきねえ……

いつしか部屋も昔の状態に戻っていた

ピロピロ

何だよ  
まったく

勧誘や新聞なら  
お断り——

出てみるとそこには――

久しぶり  
元気してた？  
中里君

ちゃんとしたモノ  
食べてる？

さ…  
聡美…さん

どうせ中里君の  
ことだから  
出来合のモノで済ませ  
てると思っ  
てると思っ  
てきたの  
食材買ってきたの

上がったも  
いい？  
何か美味  
しいモノ  
作ってあ  
げる

何コレ?!

もお〜  
またこんな  
散らかして!

いや…  
これは…

ほらっ!  
食事の前に  
片付けるわよ!





Author

山田太郎 (仮名)  
(KAMEI) TAROO YAMADA

当サークルの作品をインターネット上に  
投稿する行為はしないでください。  
過去作品を含め一切許可していません。  
当サークルの作品をインターネット上で  
見つけた場合、下記アドレスまでご連絡  
下さい。

otona@do-wa.net

Doujinshi Circle

OTONANO GU-WA

友母と

UNDER THE SAME ROOF AS MY CHILDHOOD FRIEND

おなじ屋根の下

1

初版発行日	2021年 9月 30日
編集・発行	大人の寓話
印刷所	株式会社 JC2

© 山田太郎 (仮名) ・ 遼園 / 大人の寓話

- ★本誌は有料作品です。  
内容は成人向けであり18歳未満の購入・購読・閲覧を禁じます。
- ★本作品はフィクションです。  
作中に登場する人物・団体名・地名・事件・文化・風習・史実・病等は実在するものとは一切関係ありません。  
キャラクターの容姿から想像する性別・年齢等も、全てが架空のものであります。  
また内容において犯罪行為等を示唆するものではありません。
- ★本誌は著作権法上の保護を受けており発行人の許可無く無断複製・複写・転載・二次使用・ファイル共有・投稿サイトへの無断投稿、及びそのファイルのダウンロードする行為を禁じます。  
転売・レンタル・貸与行為も同様に禁じます。
- ★感想や要望など聞かせて頂けると嬉しいです。  
[otona@do-wa.net] までお願いします。  
イベント参加や販売物のお知らせをブログにて告知しております。

<http://otonanodowa.blog79.fc2.com/>

- ★当サークル発行のバックナンバーは[とらのあな]及び[FANZA同人]にて発売中です。  
そちらをご利用下さい。

Warning!!

This book is protected under copyright law.  
This is the products which OTONANO GU-WA sells.  
Only a buyer can read.  
I forbid it to upload it without my permission.  
It is strictly prohibited unauthorized copying.



# 02

OTONANOGU-WA

友母と

MOTHER OF A FRIEND UNDER THE SAME ROOF

おなじ屋根の下で

